

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月19日
事業名	学校運営事業（小・中学校）	担当課・係名	学校教育課・教育総務係
総合計画実施計画事業 （認定番号・事業名）	—	事業番号	15
行革大綱実施計画事業 （細目コード・事業名）	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要

目的 （何のために）	小・中学校の円滑な運営、充実				
対象 （誰を・何を）	小学校児童・中学校生徒、教職員				
内容	学校運営に必要なパソコン、複写機等の借り上げ 教材、備品ほか各種維持管理物品の購入				
根拠法令・条例等	教育基本法、学校教育法				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 （決算）	平成24年度 （決算見込）	平成25年度 （予算）	
事業費	直接事業費 (a)	千円	15,300	14,584	16,618
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	15,300	14,584	16,618
	職員人数（概算職員数）	人			0.37
	人件費計 (b)	千円			2,133
総事業費 (a)+(b)	千円	15,300	14,584	18,751	
事業費内訳	社会保険料：41千円 臨時雇賃金：2,464千円 講師等謝金：50千円 看護師謝金：204千円 費用弁償：161千円 消耗品費：5,941千円 燃料費：1,771千円 印刷製本費：501千円 飼料費：4千円 医薬材料費：245千円 通信運搬費：235千円 手数料：300千円 複写機借上料：2,600千円 電子計算機借上料：136千円 修繕用材料費：422千円 学校備品購入費：1,543千円				
H 25 年度					

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 （指標名）		単位	平成23年度 （実績値）	平成24年度 （実績値）	平成25年度 （見込み又は計画値）
対象指標 （対象者数等）	① 児童・生徒・教職員数	人	2,638	2,619	2,552
	②				
活動指標 （活動量）	①				
	②				
成果指標 （達成度等）	① 児童・生徒・教職員一人当たりの事業費	円	5,800	5,569	6,512
	②				

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	各学校の運営に係る経費。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	各学校の運営に係る経費を限られた予算の中で活用している。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	各学校の運営について概ね支障なく実施している。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	最低限の予算の中で工夫して実施。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	最低限の予算の中で工夫して実施。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 学級消耗品、学校備品等について、適正な予算額、管理方法等について検証する必要がある。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
学級消耗品や机・椅子などの備品等について、管理方法や修繕方法などを検証し、必要とする品目、適正な予算額とする。
② 平成26年度に着手する事項
学級消耗品、学校備品について、適正な品目や予算額等について検証する。
③ その他（課題、調整事項等）
なし。

6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

小中学校の円滑な学校運営を図るため、必要物品等の把握に努めるとともに適正な数量や管理方法等について検証していく。
--